

(別紙 1)

1 調査対象地点

調査種別	調査媒体	調査対象・地点
モニタリング調査	大気	岩国市、周南市、防府市、宇部市、下関市、長門市 6地域6地点
	水質・底質	錦川、榎野川、厚東川、木屋川、川棚川、阿武川 6河川6地点
		山代湖、菅野湖、菊川湖、大原湖、小野湖、豊田湖、阿武湖 7湖沼7地点
		大竹・岩国地先、徳山湾(2地点)、豊浦・豊北地先、油谷湾、仙崎湾 5海域6地点
水生生物(魚)	岩国海域、徳山海域、宇部海域、豊浦・豊北地先、深川湾、仙崎湾 6海域6地点	
フォローアップ調査	水質	錦川、榎野川、厚東川、川棚川、阿武川 5河川26地点

2 調査結果概要(検出の状況:別表1~8参照)

(1) モニタリング調査

大気

プラスチックの可塑剤のフタル酸ジ-2-エチルヘキシルとフタル酸ジ-n-ブチル及び非意図的生成物のベンゾ(a)ピレンが6地域全ての地点で、プラスチックの可塑剤のアジピン酸ジ-2-エチルヘキシルが4地域、フタル酸ジエチルが1地域で検出されたが、いずれも濃度は全国範囲内であった。

水質、底質、水生生物

水質、底質、水生生物のいずれかで検出された物質は、次に示すポリ塩化ビフェニール、ベンゾ(a)ピレン等14物質であった。

・ポリ塩化ビフェニール類(PCB)

熱媒体、ノンカーボン紙などで使用されたPCB類10物質では、湖沼の底質の全地点で五、六塩化物が、海域の底質の全地点で四~七塩化物が、水生生物で四~八塩化物が全地点で検出され、河川の底質の一部地点で四~七塩化物が、湖沼の底質の一部地点で三、四、七、八塩化物が、海域の底質の一部地点で二、三、八塩化物が、水生生物の一部地点で三、九塩化物が検出された。濃度については、水生生物の2地点で七~九塩化物が全国範囲を超えていたが高濃度ではなく、その他は全国範囲に比べて低い値であり、ポリ塩化ビフェニール類(総量)においても全国範囲に比べて低い値であった。

・トリブチルスズ、トリフェニルスズ

海域の底質の全地点及び水生生物の一部地点においてトリブチルスズ及びトリフェニルスズが検出されたが、いずれも濃度は全国範囲内であった。この2物質は船底塗料、漁網の防汚剤に用いられていたが、現在は、製造・輸入が禁止されている。

・アルキルフェノール類

ノニルフェノールは、河川の水質の5地点、湖沼の底質の6地点で検出され、4-t-オクチルフェノールは、湖沼の底質の3地点で検出された。

ノニルフェノール及び4-オクチルフェノールは、環境省の生態系影響評価で魚類に対する内分泌かく乱作用が確認されているが、検出された濃度はいずれも全国範囲であり、魚類への影響が考えられる濃度よりも低い値であった。

- ・ベンゾ(a)ピレン
湖沼及び海域の底質の全地点及び河川の底質の一部地点で、非意図的生成物のベンゾ(a)ピレンが検出されたが、いずれも濃度は全国範囲内であった。
- ・4-ニトロトルエン
徳山湾の水質(2地点)で、染料等合成の中間体の4-ニトロトルエンが検出されたが、濃度はいずれも全国範囲内であった。

(2) フォローアップ調査

過去の環境ホルモン調査で河川における検出頻度の高い物質等について、代表的な河川の詳細調査を行った結果は、ノニルフェノールは5河川で検出されたが、4-n-オクチルフェノール、4-t-オクチルフェノール及びビスフェノールAはすべての河川で検出されなかった。

ノニルフェノールの検出された濃度は、全国の状況と比較して全国範囲内にあり、高濃度のものは見られなかった。

- ・ノニルフェノール
6月はすべての地点(26地点)で検出され、11月は14地点で検出された。厚東川を除き11月より6月の濃度が高かった。

参考

環境ホルモン戦略計画SPEED'98

国は、平成10年5月に「環境ホルモン戦略計画SPEED'98」を発表し、内分泌かく乱作用をもつと疑われている67物質(群)(平成12年11月改訂:65物質(群))について、その内分泌かく乱作用の有無、強弱、メカニズム等を解明するための調査研究を推進することを示した。

これに基づく国の主な取組状況と対応は次のとおり

- ・環境中での検出状況、野生生物等に係る実態調査の推進
- ・試験研究及び技術開発の推進
- ・有害性評価(環境リスク評価)、環境リスク管理及び情報提供の推進
- ・国際的なネットワーク強化のための努力

ExTEND2005

国はSPEED'98の調査研究と科学的知見の蓄積や国際的な取組の進展を踏まえSPEED'98の改定作業を進め、17年3月に今後の対応方針として「ExTEND2005」を発表した。

これに基づく国の主な取組と今後の対応は次のとおり

- ・野生生物の観察
- ・環境中濃度の実態把握及び暴露の測定
- ・基盤的研究の推進
- ・影響評価
- ・リスク評価
- ・リスク管理
- ・情報提供とリスクコミュニケーション等の推進